

## I 類 論文課題

### 【行政】

#### (課題1)

トラック物流業界やバス、タクシーといった地域公共交通は、担い手不足やカーボンニュートラルへの対応など様々な課題を抱えています。そのような中、「働き方改革関連法」に基づき、2024年4月から、自動車運転業務の時間外労働の上限規制が適用されています。併せて、「改善基準告示(※)」の改正により、ドライバーの拘束時間の上限、休息期間についての基準等が強化されました。この結果、我が国は、何も対策を講じなければ物流の停滞が懸念される、いわゆる「物流の2024年問題」に直面しています。

福岡県では、安定的な物流サービスを確保するため、トラック運送事業者が行うドライバーの負担軽減や拘束時間削減に向けた取組の支援や、地域公共交通の人材を確保するため、女性や外国人など多様な人材がドライバーとして活躍できる職場環境の整備等の支援に取り組んでいます。

「物流の2024年問題」による物流の停滞や地域公共交通の維持が危惧される中、現状の問題点を挙げた上で、今後、行政としてどのような取組を行えばよいか、あなたの考えを述べなさい。

(※) 自動車運転者の労働時間等の改善のための基準

#### (課題2)

少子高齢化の進行により、働き手や地域社会の担い手不足が深刻化していくことが見込まれています。一方で、福岡県における外国人労働者数は、令和5年10月末時点において約6万5千人となっており、過去最高を更新しています。在留資格別にみると、資格外活動許可を受けた「留学」が最も多く、次いで「技能実習」、「専門的・技術的分野」となっており、外国人材の増加が顕著となっています。今後、人口減少社会の中で地域の活力を維持していくためには、このような外国人材に、県内企業の働き手や地域社会の新たな担い手として活躍してもらうことが期待されています。

そこで、外国人材が安全・快適に暮らし、働きやすく、地域社会に参画しやすい環境を整備するために課題となっていること及びその課題に対し、行政としてどのような取組を行えばよいか、あなたの考えを述べなさい。